

水産物部初市の入荷数量

中央卸売市場
平成29年1月5日

1. 入荷予定数量(築地市場) * 下段()は全市場入荷予定数量

年月日	平成29年1月5日 木曜(A)	平成28年1月5日 火曜(B)	前年比 A/B
入荷数量	1,337.3 (1,402.4) トン	1,441.7 (1,540.1) トン	92.8 (91.1) %

2. 主要品目の入荷予定数量(築地市場)

品目	入荷数量(トン)		
	平成29年 1月5日(A)	平成28年 1月5日(B)	前年比 A/B(%)
あじ	21.0	14.7	142.9
さば	7.0	15.5	45.2
いわし	8.0	19.0	42.1
するめいか	6.0	11.0	54.5
はまち	41.0	34.0	120.6
かき(むき)	7.6	7.4	103.0
冷凍めばち	38.5	57.3	67.2

3. 概況

本年初市の全市場の入荷予定数量は、前年比8.9%減の1,402トンであった。

築地市場の鮮魚類の入荷は、前年と比べて6.2%減の331トンで、相場は前年に比べ高安まちまち。品目別にはアジは下落、サバは小高い、イワシはしっかり、スルメイカは堅調、ブリは高安まちまち、メジは軟調。

生鮮マグロの入荷は285本で昨年(443本)より減少した。今年の最高価格は、青森県大間・生鮮本マグロ(212.0kg)がkgあたり350,000円だった。また、冷凍マグロは1,238本で昨年(1,310本)より5.5%減少した。

国内マグロ天然は大間主体の青森産26本、北海道産2本のほか壱岐などの長崎産が52本と倍増し、値動きは大型が小じっかり、中・小型は長崎産主体に2割方値下がり。養殖は天然物の人気に押され軟調。輸入マグロ天然はギリシャ産5本の入荷があったが豊富な国内物に押され相場は伸び悩んだ。養殖はメキシコ産が小幅上伸。

【連絡先】

<上記内容に関すること>

中央卸売市場 築地市場水産農産品課 水産品担当 03-3547-8061

<ホームページに関すること>

中央卸売市場 総務課 広報担当 03-5320-5720